

スマホから身を守るために

山口県下関市立東部中学校 2年 吉村 菜々美



最近では中学生はもちろん、小学生からスマホやタブレットを使用している人が急増していると思います。コロナ禍というのもあり、年齢を問わずスマホなどの使用時間が増えています。近年では、スマホの急速な普及により、携帯電話やスマホを利用している子どもの割合は、中学生が6割、高校生では9割以上に達していて、中高生は、ネットやゲームアプリを使用している人が多いと思います。スマホは、アプリをインストールするだけでゲームや通話など、小型軽量の端末で毎日の生活を過ごしやすくしてくれているものです。しかし一方で、アプリなどを悪用して事件が絶えなくなっています。

その代表ともいえるのが出会い系サイトを利用した犯罪です。出会い系サイトとは、電子掲示板や電子メール等の機能を用いて、交際を希望する面識のない異性同士の交流をとりもつことをはかるウェブサイトのことです。これを利用した犯罪は児童を対象とした事例が多く、児童ポルノ、児童買春、児童福祉法違反などがあり、金銭や品物だけでなく、児童の身体が狙われていることがわかります。その他にも、インターネット上でいじめやいたずら動画の投稿など、様々な事件が起きています。

私は実際、小学4年生の頃にいじめをしてしまったことがあります。このいじめのきっかけはスマホでした。相手の顔が見えないメールでエスカレートしていきましました。お互いの言葉遣いが荒くなったり、無視したり悪いことがたくさん起きてしまったのです。先生方、両親のおかげで仲直りすることができました。しかし、相手に与えてしまった傷は一生消えることのない深さで、どれだけ謝っても許されないことです。

このように、スマホがきっかけで悪い事件が起きず、楽しく利用するにはどうしたらいいのでしょうか。インターネットは本名や自分の顔など、個人情報に関わることを公開しなくても利用することができます。だからといって好き勝手に使用していると、思いもよらないところから個人情報がもれてしまう可能性が十分にあります。防止策として、あまり自分の個人情報となるものはネット上に公開しないようにすることです。例えば自分の名前や住所はもちろん、自分の家のまわりやカードの暗証番号などもやめましょう。なので、写真や動画を投稿するときには、個人情報の特定につながるものはないか、しっかりと確認することが必要です。他にも、親と共有フィルタリングをかけるなどがあります。ここで油断せずに、自分はこの対策をしているけれど、防犯意識を高めて利用しよう、という心がけを持つことが大切です。

また、同性の同級生などになりすまし、自撮りや下着姿などの写真を送ってもらうというような事件も多くあります。最悪の場合、誘拐などにもつながってしまいます。なので、親に確認してもらったり、簡単にネット上にかかっているものを信じないようにしましょう。

ゲームに夢中になって、いつの間にか高額課金があることも中高生にはよくあるかと思います。こうした事件を防ぐには、ゲームお小遣い帳をつけるかと思っています。アプリ課金は目に見えないお金なので、どのくらい使ったのかわかりません。しかし、紙に書くことで、目に見え、管理もしやすくなるかと思っています。クレジットカードやパスワードは、親に管理してもらうのもいいかもしれません。

コロナ禍の今、オンラインショッピングやフリマアプリを使う人が多いかと思っています。しかし、トラブルに巻き込まれる可能性もあります。例えば、代金を振り込んだのに商品がいくら待っても届かず、本社に問い合わせても返事がなく、電話もつながらないことがあるかもしれません。そんなことが起きないように、安すぎるサイトは控えるようにしたりしましょう。

ネットやSNSは怖いものだらけだから、あまり使用しない方がいいなど考える人が多いかと思いますが、少なくとも私はそうではないかと思っています。確かに、ネットには分からないことだらけだけど、ネット上でのルールやマナーを知って利用したり、無理なものはきっぱりと断ったり、何かSNSなどでトラブルがあったら、一人で抱え込まずにいろんな人に相談したりすることで、嫌な思いをせず、楽しく利用することができるかと思っています。一人一人がしっかり意識することで、より多くの人々が安心してスマホを利用できるかと思っています。

私もスマホを使っているので、いろんな犯罪に気をつけながら楽しく使用したいです。他にもメールでのやり取りも気をつけて、相手のことをしっかり考えたいかと思っています。